

九州保健福祉大学研究紀要投稿要領

1. 名称

本誌は、九州保健福祉大学研究紀要

「英文誌名：Journal of Kyushu University of Health and Welfare」

「略誌名：九保福大研究紀要 J. Kyushu Univ. H. W.」

とする。

2. 発行

九州保健福祉大学研究紀要は、原則として年1回発行する。

3. 投稿資格

紀要への投稿は未発表のものとし、原則として本学教員とする。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

4. 投稿申し込み

投稿申し込み、原稿提出先は担当事務局とする。

5. 掲載採否・順序

掲載の採否、順序は紀要委員会が決定する。

6. 原稿の種類

原著を原則とし、和文、英文のいずれでもよい。

7. 投稿一般規程

1) 用紙およびフロッピーディスク

a. 用紙

和文原稿の場合はA4判用紙を使用する。

英文原稿の場合は、A4判または国際版(216×280mm)の用紙を使用する。

b. フロッピーディスク

和文、英文原稿ともに、原稿ファイルを記録したフロッピーディスク(機種およびソフトを明記)を提出する。フロッピーには原稿を原則として一つのファイルにして保存しておく。印刷の都合上、ファイルソフトはワードが好ましい。テキストファイルをも添付すること。

2) 原稿紙数

和文、英文ともに刷り上り10頁以内とする。

3) 原稿の作成方法

a. 表紙

a) 和文原稿の場合

日本語での表題と著者名、英語での表題と著者名、日本語での所属およびその所在地、英語での所属およびその所在地、日本語でのランニングタイトル、表紙を含めた原稿の枚数、図(写真を含む)もしくは表が本文中に組み込まれていない場合は添付されている図と表の数、別刷り希望部数を、この順に従って書く。

なお、著者の所属の表記には、筆頭者以外の共著者が所属を異にする場合は共著者およびその所属名の冒頭に*さらには**印をつける。

b) 英文原稿の場合

英語での表題と著者名、日本語での表題と著者名、日本語での所属およびその所在地、英語での所属およびその所在地、英語でのランニングタイトル、表紙を含めた原稿の枚数、図（写真を含む）もしくは表が本文中に組み込まれていない場合は添付されている図と表の数、別刷り希望部数を、この順に従って書く。

なお、著者の所属の表記には、筆頭者以外の共著者が所属を異にする場合は共著者の右肩およびその所属名の冒頭に*さらには**印をつける。

b. Abstract（原稿用紙2枚目に一段組みで記載）

和文、英文いずれの原稿の場合にも、英文の Abstract（研究目的、方法、結果および結論を理解できるような200語以内の概要）を記載する。

c. キーワード

Abstract の下に3～5語のキーワードを記載する。

和文原稿の場合には日本語および英語で記載する。

英文原稿の場合には英語のみで記載する。

d. 本文（原稿第3枚目以降に二段組みで記載）

本文は原稿第3枚目以降とする。

和文原稿の場合は、一段が25字×45行で打ち出す。用紙は二段組みで構成される。本文中に挿入される図表の幅は一段分の幅か二段分の幅かのどちらかとする。

図（写真を含む）のタイトルと説明は図の下に入れ、表のタイトルは表の上に、その説明は表の下に入れる。平仮名は現代仮名使いとし、漢字は常用漢字とする。外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語とし、外来語、動植物名などはカタカナ、数詞は算用数字の使用を原則とする。

英文原稿の場合は、一段の1行がおおよそ50字となるようにし、以下は和文原稿の場合に準ずるものとする。イタリックを必要とする場合は、目印にアンダーラインを引く。

e. 要旨（原稿本文の文献の後に一段組みで記載）

英文原稿の場合は、400字以内の和文の要旨（研究目的、方法、結果および結論が理解できるもの）を添える。要旨の下に、日本語のキーワードを入れる。

f. 単位および単位記号

国際単位系、メートル法を基準とする。

g. 項目の区分

a) 大項目

前後を1行あけ、行の中央に記載する。

原著論文の緒言（Introduction）、材料（Materials）、方法（Methods）、結果（Results）、考察（Discussion）、引用文献（References）などが相当する例である。

b) 小項目

以下の順で使用する。

1., 2. …行の第1字目に記す。

1), 2) …行の第2字目に記す。

a., b. …行の第2字目に記す。

a), b) …行の第3字目に記す。

h. 註

註が必要な場合には、本文中の該当箇所右肩に(1)のように順を記し、本文、謝辞の後、文献の項目の前に一括掲載する。

i. 引用・参考文献

文献は、引用順に配列し原稿末尾に二段組みで一括記載する。なお、本文中該当箇所の右肩に、連続する文献引用の場合は¹⁻⁴⁾、連続しない文献引用の場合は³⁵⁾のように記す。文献著者名は、筆頭から3名までの名前を記載し、それ以上は他（et al.）とし、人名の記載は、英文名でも姓を先にすることを原則とする。

a) 雑誌から引用する場合

著者名、表題、掲載雑誌名、巻数（必要であれば号数）、頁一頁、発行西暦年の順に記載する。雑誌名は、日本医学雑誌略表（日本医学図書館協会編）および Index Medicus に従うこと。

例

- 1 Makino,K.: Fluorophores of the human retinal pigment epithelium. Exp. Eye Res. 50 : 79-88,1981.
- 2 Sakaguchi,M., Benet, T . M ., Jameson, E . W ., et al.: Two new leas from Japan. J .Med.Zool. 156-162,1959.
- 3 花山美代, 桜木和美, 梅桃光子, 他: 性周期記録のこころみ. 母性衛生 20 (3) : 34 - 56, 1987.

b) 単行本から引用する場合

著者名、(編者名)、書名、版数、発行所、発行地、引用頁、発行西暦年の順に記載する。

例

- 4 Wintrobe,I.W.: The conduction of the nervous impulse. Liverpool Univ. Press, Liverpool, 1974.
- 5 Hodgkin,A.L. : The erythrocyte. In Clinical hematology. 7th ed. Lea and Febiger, Philadelphia, 1974.
- 6 Schwarts,T.W. and Tager,H. : Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In Gut hormones. 2nd ed. Churchill Livingston, Edinburgh, London, Melbourne, New York, pp.202-205,1981.
- 7 桃山浩, 梅山春子, 桜川洋: 心理学の探求. 第2版. 国土社, 東京, 1978.
- 8 松竹太郎, 梅山春子, 桜川洋 (山川一郎, 高山登編): 松果体腫瘍に対する重粒子線の効果: 放射線治療. 医学大学書房, 大阪, pp.96-102, 1978.

j. 図表および写真

図(写真を含む)および表が本文中に組み込まれないときには、以下の様式で提出する。図表は、必ず一つずつ別紙に記し、図ごと、表ごとの通し番号をつける。図版(Plate)や写真(原則として白黒)は、図として取り扱う。図はなるべく原寸大とし、明瞭でそのまま印刷できるものとし、8cmあるいは16cm幅にまとめる。図はA4判の台紙に貼り、さらに薄紙のカバーを付けるのを原則とする。台紙の裏には筆頭者氏名、ランニング・タイトル、図の通し番号を記入する。図・表の説明文(英文でもよい)はまとめて原稿の末尾につけ、原稿本文中の欄外余白部に図、表の挿入位置を朱記し明示する。

4) 校正

原則として校正は著者が行う。校正は再校までとし、校正時における内容の変更や追加は認めない。なお、校正原稿は紀要委員会で定めた期日までに必ず担当事務局に返却する。

8. 別刷り

著者には紀要誌2部、別刷り30部を贈呈する。30部を越える分についての費用は、著者の負担とする。

9. 著作権

投稿された論文の著作権は、九州保健福祉大学に帰属するものとする。

10. 倫理規定

投稿論文の内容は、本学の倫理委員会、動物実験管理委員会および遺伝子・核酸組換え実験安全委員会の規定に従ったものでなければならない。

附則

- この投稿要領は平成12年7月1日より施行する。
- この投稿要領は平成13年7月1日より施行する。
- この投稿要領は平成14年7月1日より施行する。
- この投稿要領は平成15年7月1日より施行する。
- この投稿要領は平成16年7月1日より施行する。